

## 七夕まつりをフィールドワーク



羽衣国際大学の学生20名が7月6日④・7日⑤の2日間にわたり湯浅町をフィールドワークしました。

鳥之内の弁財天で行われた七夕まつりの歴史を聞き込み調査し、普段触れることのない町の人の温かさを実感していました。

## 先輩・ふるさと湯浅を語る (湯浅中学校)

子どもたちに郷土を愛し、誇りに思う心を育む「ふるさと学習」が湯浅中学校で始まりました。この取組は湯浅町独自のものです。2年目になります。第1弾は6月10日⑥に谷中敬治さん(湯浅町商工会)が、第2弾は翌週17日⑦に樫原正都さん、井上信太郎さん(田地区農家)が、全校生徒の前で、スクリーンに映像資料を映し出しながら、湯浅の魅力全校生徒に分かりやすく紹介しました。

生徒は、身近な地域の魅力や、地域おこしに取り組んでいる大先輩の姿を知ることができ、ふるさと湯浅にさらに誇りと親しみを感じることができました。



## 出前講座を開催しました!



7月8日⑧北の町老人憩の家で出前講座を開催しました。

今回はサロンなごみの参加者の皆さまに災害が起きた時にはどうするか、災害が起きる前の準備はどうしたらいいのかなどを学んでもらいました。



## 栖原海岸の清掃をしました!

「みんなの海をみんなできれいにしよう」例年行われている海岸清掃が6月29日⑨に行われ、149名のボランティアにより海岸に流れ着いたごみや流木を集めました。

たくさんの方の協力によりきれいになりました。

きれいな海をみんなで保ちましょう。



## 「たのしい音楽会」を開催しました

6月28日⑩、東京藝術大学客員教授で音楽家の青島広志さんとテノール歌手の小野勉さんを招き、午前中は湯浅小学校、午後は湯浅中学校で行われました。

音楽会では、青島さんのピアノと小野さんの歌に合わせ、「手のひらを太陽に」など、誰もが知っているような身近な曲で始まり、子供たちも手拍子や身振りを加えながら楽しく歌いました。また、合間には、青島さんが曲の時代背景をイラストで描きながらわかりやすく紹介し、会場内からは笑いや驚きの声が上がっていました。後半は、小野さんの解説で青島さんがピアノを演奏し、今度は会場内が静まり返って青島さんの奏でる音色に聴き入っていました。



## 津波救命艇の愛称が決まりました!

愛称 **「SaVeBoat SONAE」**



愛称の意味 津波から人を救うこと、救助、守ること。きたるべく大災害に「備えよ」という意味。

応募総数60通の中から、2つの名前を合わせて愛称とすることとなりました。

全国各地からご応募いただき、ありがとうございました!

## 消防団新入団員訓練を行いました

6月30日⑪湯浅広川消防本部にて今年度入団した団員を対象に、ホース放水や整列敬礼の基本動作を学びました。

